

井坂博文

こんにちは
市会議員



発行/日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町78/電話432-3261/F A X 441-4968

町内会の地蔵盆

20日、私が住む町内会の地蔵盆。町内会長として夏の最大イベントだ。役員で分担してお供えや配り物、子ども達のお菓子を購入。

ただしわが町内は子どもが少なく、高齢者が多いというところで、他の町内会のよう



なイベントは久しくやっておらず、お地蔵さんは千本えんま堂に預けて、そこにお参りにいく。



住職さんは「地蔵盆は子どもだけの行事ではない。大人も産まれた時はみな子ども。だから子どもがいなから地蔵盆をしないのはおかしい」と厳しめの説教されたのが印象的。お参りから帰り、各世帯にお供えとお菓子を配って任務終了。

春から、花見、B B Q大会など交流会を重ねてきたので、お参りにきた町内の方から「来年は久しぶりにイベントしようか」と嬉しい提案。初孫ちゃんのためにもぜひ実現したい。

市美術館にネーミングライツ

新聞報道にあるように、市美術館の再整備にあたって事業費の一部をネーミングライツ契約で確保することが9日のくらし環境委員会で報告された。一部と言っても総事業費100億円の半分50億円が目標。期間は50年間。12日から募集を始めるという。

ネーミングライツとは正式の施設名称に企業名や商品名を愛称として冠する権利をカネで支払うもの。すでに「わかさスタジアム」や「ロームシアター京都」などがある。

しかし、条例で定める施設名の愛称であるために、地方自治法に基づく議会承認が不要であり、市長の判断で自由にできる。

50年間、50億円という長期かつ高額な判断が議会の議決なしにやってもいいものか、と指摘した。与党派からも「80年の美術館の歴史にそぐわない」「市役所もネーミングライツにするのか」などの厳しい意見が続出し、後日、「12日からの募集は延期する」との連絡があった。「財政が大変だから」では済まされない。

高校生との意見交換会を検討

京都市会は市会改革委員会で議会としての投票率向上に関する議論が続いている。

参議院選挙の前には、龍谷大学政策学部の一伏見区投票率向上プロジェクトの学生と意見交換し、選挙の際に学内に設置した期日前投票の取り組みを踏まえて9月の委員会に来てもらって意見交換をおこなう予定にしている。

19日の委員会では、さらに若い世代に京都市会を身近に感じてもらう、主権者としての政治参加への意識を高めてもらうことを目的として、高校生と市会議員との意見交換について委員長試案を検討し、試行実施することを確認した。

9月の委員会でテーマとすすめかたを検討することになった。あくまでも高校生の身近なことを題材にしながら政治参加への意欲を高めることに主眼をおいて行うよう具体化をしたい。

デジカメ・スマホ教室を開催

19日の議員団会議でデジカメやスマホによる写真撮影のポイントやデータ保存についてプロのカメラマンから講義を受けた。



撮影のときの構え方は「脇が甘いとぶれやすい」との指摘。撮影も活動も「脇を固める」ことが大事と実感。「シャッターチャンス逃がさないためには連写を」と言われたが、私のスマホは連写ができないので残念(苦笑)。

人物撮影は背景の使い方や出来栄がすっかり違う、など知らなかったカメラ機能や使いこなせていなかったテクニクがわかった。

じいじになりました

15日、広島の実家から京都に帰る途中の高速道路を走っている最中に、娘から「11時に産まれた」とのメールが届いた。15日が予定日だったが、初産なので多少は延びるだろうとたかをくくっていたのに、几帳面な長女だけはある、ちゃんと予定日どろりに出産にびっくり。

京都についてすぐに病院にかけつけ、初孫と面会。病院の計らいもあってさっそく抱っこさせてもらった。長女の産まれた時の顔とそっくり。とっても可愛い。すでにじいじバカを実感している。



田舎のある風景

各議員ともブログやフェイスブック、ニュースなどの実戦に生かすべく真剣に聞き入っていた。

お盆に広島の実家に帰省。朝飯食べて、涼しいうちに草刈りに。ところがしばらくすると猛烈な日差し。しかし負けるもんか、と休憩挟んで3時間頑張った。



汗だくでへろへろになった身体は、太陽熱で沸かしたお風呂で汗を流してさっぱり。昼飯は、朝市で買った野菜をふんだんに使った料理に、世羅名物のわにと懐かしい鯨の刺身にビール。

その後は昼寝タイム。クーラーなしで、家じゅうの戸をすべて開放して、時折り吹き抜ける風が心地よい。静かに時間が過ぎていく。